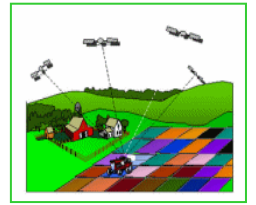


北海道情報化農業ニュース

北海道における持続的な農業の発展のための情報技術の活用促進
およびその健全な普及を図る。



● NPO 法人 Digital 北海道研究会からの案内 ● ● ●

号外 2013. 1. 23

NPO 法人 Digital 北海道研究会より、「2013 年度 1 月号メールニュース」が届きましたので、お知らせします。

2013年1月号メールニュース

【Digital 北海道活動報告】

■ Digital 北海道研究会の直近の活動を報告します。

◆ 「QGIS 講習会 in 旭川」を開催しました

Digital 北海道研究会では、オープンソース GIS を推進しています。オープンソース GIS は誰でも無料で利用可能な GIS です。オープンソース GIS は様々な種類がありますが、今回はその中の「QGIS」をテーマに行いました。QGIS はデスクトップで使える汎用的な GIS ソフトで、ArcGIS や SIS などと同様な作業が可能です。

今回は、12 月 15 日（土）に旭川の会場で初級編を開催し、8 名の方に参加していただきました。

QGIS 講習会の次回は 4 月以降を予定としています。

■ 【北海道内の GIS・RS イベント・勉強会】

◆ 2013 年 1 月 27 日（日）「Bio-logging セミナー」

淡水および海水魚類に装着可能な Bio-logging 機器に関するセミナーを以下のように開催します。魚類の発信機では世界的シェアを誇るカナダの LOTEK 社、副社長の John Vanden Elzen 氏を講師としてお迎えしています。

ご興味のある方は、お誘いあわせの上ふるってご参加ください。

講師：John Vanden Elzen 氏 VP Marketing & Sales

Lotek Wireless 社（カナダ） <http://www.lotek.com/>

日時 1 月 27 日（日）15：00～17：00

場所：北海道大学環境科学院 D102 室

内容：魚類に装着可能な Bio-logging 機器（仮）GPS テレメトリー最新機器の紹介

世話人：赤松里香（EnVision 環境保全事務所）・金子正美（酪農学園大学）・小泉逸郎（北海道大学）

◆ 2013 年 1 月 31 日（木）「第 10 回 北海道測量技術講演会」

国土地理院北海道地方測量部主催の講演会です。当研究会も後援しております。

申し込みが必要となっております。詳細は下記をご参照ください。

<http://dghok.com/wp-content/uploads/2012/12/gsi130131.pdf>

◆ 2013 年 2 月 23 日（土）～24 日（日）「北海道大学 GIS セミナー（函館）」

Digital 北海道研究会では、函館にて ArcGIS の講習会と GIS の講演会を予定しております。

1 日目：ArcGIS の講習会（初級編）

2 日目：講演会等予定

詳細が決まりましたら追ってご案内いたします。

- ◆2013年2月25日(月)「高度情報化農業セミナー農業情報化の最前線とこれからの発展方向」
農業分野における、情報技術とロボット技術の最前線を紹介するセミナーです。詳細は下記案内を御覧ください。

<http://dghok.com/wp-content/uploads/2013/01/b566c5fe63c20552e15b6469351075ee.pdf>

申し込みが必要となっておりますので、下記アドレスを参照し、各自でお申込みください。

<http://dghok.com/wp-content/uploads/2013/01/968d01f0186210b9681dad05b777c379.pdf>

- ◆2013年3月中～下旬「GISデータ空間情報セミナー(仮題)」

Digital 北海道研究会では、国土基本情報のリリースを記念し、国土地理院の方をお招きし、GIS利活用のセミナーを行う予定としております。

日時場所につきましては追ってご案内いたします。

【話題提供】

- ◆国土地理院「電子国土 Web. NEXT」開発担当者インタビュー (INTERNET Watch)

近年、急速に改良が進んでいる、電子国土 Web の開発担当者インタビューの記事です。最新バージョンでは、白地図の閲覧など、データの種類が増え、オープンレイヤーズの採用により、インターフェイスも刷新され、高速に動くようになりました。

http://internet.watch.impress.co.jp/docs/column/chizu/20130110_581167.html

【新刊書籍情報】

- ◆「GIS ロジック商圈モデルと立地論・業態論・商圈論」長塚 四史郎

店舗選択行動をする消費者は、Huff が言ったように定数効用モデルに従うコイントス人間にすぎないのか、それとも効用最大化選択をする合理的人間なのか、両者に区別はない、というのが長年の定説だったが、2000年度ノーベル経済学賞受賞理論である D. McFadden の確率選択理論を、GIS 上で平均人に適用する集計型確率選択モデルを用いると、消費者はまさに目的合理的に店舗選択していることが実証的に明らかとなった。これにより商業立地問題・商圈問題を科学的に解析し、予測する道が開けた。“目的”の理解には“店舗とは何か”という問題の解決も含まれている。

<http://www.kaibunsha.co.jp/books/view/444>

【編集だより】

年度末進行まっただ中ですが、皆様体調はいかがでしょう。

Digital 北海道研究会では、年度末も様々な企画を準備していきます。お忙しい時期ですが、お時間ありましたら是非ご参加いただくと幸いです。

個人的な今年の GIS の動きの予想ですが、民間(特にマーケティング)の分野で活用が進むのではないかと考えています。国土地理院の国土基本情報やマイクロジオデータなどの高精度で低コストな GIS データが出てきたのと、Web やクラウドの発達により難易度が下がったので、大企業だけではなく中小企業における利活用のハードルも下がったのではないのでしょうか。

先日平成 22 年度国勢調査の人口データ(メッシュデータ)も総務省よりリリースされましたので、より現在に近いマーケティング分析も行えるでしょう。

今年も Digital 北海道研究会をよろしく願います。

特定非営利活動法人 Digital 北海道研究会 事務局 三好

〒007-0836 札幌市東区北 36 条西 26 丁目 2-37

電話/fax 011-374-8860 メールアドレス: office@dghok.com

Homepage <http://www.dghok.com/>

＜発行＞北海道高度情報化農業研究会
事務局：館山 則義
〒060-0005 札幌市中央区北 5 西 6-1
公益財団法人北海道農業公社 総務部
TEL: 011-241-7551 FAX: 011-271-3776
e-mail: tateya@adhokkaido.or.jp

編集委員：丸山 健次(酪農学園大学)
TEL&FAX: 011-388-4864